





# あらかじめ見た

## 聖書の中の場所のはなし

みことばを聞いてるとき、聖書の中に登場する重要な場所がどんな場所なのかよく知らないままということはありませんか。その場所について考えながら聖書を読めば、そのとき、その状況を想像して、さらに実感することもできるでしょう。3月号では、学院福音化の教材に登場した場所について、一度見てみましょう。

### 1. ピリポ・カイザリヤ

- 現在のパニアスと呼ばれるところで、ガリラヤ湖の北側に位置するヘルモン山の麓にあります。
- ここは昔、パニアスと呼ばれていました。ギリシア神話に登場する「パン」という神のための都市という意味です。後にアラブ人の発音によって、パニアスに変わりました。
- ヘロデ大王が皇帝アウグストゥスからパネアス周辺地域を与えられたことが始まりです。大王の死後、息子のヘロデ・ピリポが町を整備して、当時の皇帝ティベリウスに敬意を評してカイザリヤと改めました。その時、地中海沿岸のカイザリヤと区別するために、自分の名前を加えてピリポ・カイザリヤとしました。
- ヘロデ大王は、皇帝アウグストゥスからこの町を与えられた記念に、皇帝の像を安置した神殿を建設しました。いまも「パン」のための神殿の遺跡があります
- この場所でイエス様が「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」と尋ねられ、ペテロは「あなたは、生ける神の御子キリストです。」と答えました。

### 2. 変貌山

- ペテロの信仰告白の後、イエス様がこの山で姿が変わったので、変貌山と呼ばれています
- 場所に関しては諸説あり、「タボル山」という説と「ヘルモン山」だという説があります
- この山で、エリヤも、モーセも消えて、ただイエス様おひとりだけが残ったことをペテロとヨハネが見ました（マタ 17:8）

### 3. カルバリの丘

- イエス様が十字架刑に処されたところです
- 新約聖書で使われているヘブライ語では「ゴルゴタ」と呼ばれており、「されこうべの場所」を意味します。（されこうべ＝骸骨のように見える山）
- ゴルゴタのラテン語が 'Calvaria'（カルバリア）ですが、英語聖書に翻訳される時「Calvary（カルヴァリー）」と翻訳され、日本では「カルバリ」と翻訳されています。
- この場所はアブラハムが息子イサクをいけにえとしてささげようとした場所です

### 4. ガリラヤ

- イスラエル北部の地域をガリラヤと呼び、当時204個のほどの村が存在していたとされます
- イエス様の働きの大半はガリラヤ地域で行われました
- ガリラヤ湖
  - 旧約ではキネレテの海と呼ばれ、新約ではガリラヤ、ガリラヤ湖、ティベリアス湖（ティベリウス皇帝の名前を取っています）と呼ばれました
  - イエス様が風と波を静められ、水の上を歩いた場所です
  - ガリラヤで行われた24回の奇跡のうち、18回をこの湖で見せていただきました
  - 復活後、イエス様がペテロに「わたしを愛しますか」と尋ねられた場所です

### 5. オリーブ山

- エルサレムの東側にある山のことで（標高約800m）
- イエス様が祈られたゲツセマネがあった所です
- 復活されたイエス様が40日間神の国のことを説明されました（使 1:3）
- イエス様が昇天された場所です（使 1:12）

### 6. マルコの屋上の間

- イエス様が弟子たちと最後の晩餐をともにしたことを記念する「屋上の間」がある2階の広間です
- 使徒12章12節に、マルコ・ヨハネの母マリヤの家だと記録されています
- 120人が10日間祈り（使 1:14）五旬節の日に聖霊が降臨した場所です（使 2:1）

### わたし 私たちに適用しよう！

- 私が暮らしている町、学校の名前を書きましょう
- 上に書いた場所が伝道、宣教、次世代のための場所になるように、祈り文を書きましょう



